

特定非営利活動法人
気象キャスターネットワーク

活動報告書

2015年



2016年 2月 20日

学校出前授業

気象や環境、防災などに関する様々なテーマの出前授業を全国各地の小学校、中学校、幼稚園などで実施しています。ワークショップや天気の実験、クイズなどを織り交ぜ、楽しみながら学べる授業です。

2015年は、企業様、団体様のご協力をいただきながら、小学校、中学校、幼稚園で一年間に合わせて100回の出前授業を行いました。

活動名	2015年実施数	実施地域
「地球温暖化と新エネルギー/リサイクル」 (シャープ株式会社 協働)	20回 (2015年1～3月)	東京・神奈川・千葉・大阪・和歌山・広島・福岡
「日産わくわくエコスクール」 (日産自動車株式会社協働)	4回 (2015年度7回)	東京・神奈川
「なるほど！お天気実験教室 ～フロンを知って 地球を守ろう～」 (ダイキン工業株式会社 協賛)	20回 (2015年度20回)	東京・埼玉・大阪
防災出前授業「空の教室」 (河川整備基金 助成事業)	10回 (2015年度10回)	北海道・東京・茨城・千葉・岐阜・大阪
台東区学びののキャンパスプランニング (台東区 委託)	14回 (2015年度13回)	東京台東区
IPCCレポートコミュニケーターによる 小学校環境出前授業 (環境省 委託)	22回 (2015年度30回)	北海道、宮城、東京、神奈川、三重、大阪、広島、沖縄
自主事業による出前授業	10回	
合計	100回	

IPCCレポートコミュニケーターによる 親子向けイベントと小学校環境出前授業

気候変動に関する政府間パネル「IPCC」の内容を一般の国民に伝えていく「IPCCレポートコミュニケーター事業」。2013年度から始まった事業も全国各地に広がりつつあります。その中で気象キャスターネットワークでは気象の専門性を活かしながら、多くの気象キャスター・気象予報士がIPCCレポートコミュニケーターとして活動をしています。



2015年8月には大阪で、11月には名古屋で親子向けの環境イベントを開催しました。それぞれの地域で活躍している気象キャスター・気象予報士が集結し、イベントを盛り上げ、各会場ともにたくさんの親子で賑わいました。



実験やゲームなどを交えながら地球温暖化の仕組みや身近な影響などを楽しく学びました。また、マイボトルの持参や自転車の活用、エアコンの温度設定など、各キャスターが行っている「エコな取り組み」を参加者に話していました。



また、今年10月からは小学校環境出前授業がスタートしました。北海道や関東、東海、関西、広島、沖縄など全国各地の小学校で実施、各地の気象キャスター・気象予報士が講師として、地球温暖化の最新情報を子どもたちに教えています。授業の特徴の一つは、ワークショップ「生活ボックスでみんなの生活を振り返ってみよう」。サイコロ状の箱に描かれた私たちの生活の色々な場面イラストを見て、どんなところに、どの時間帯にエネルギーを使っているかを考えるワークショップです。

イラストには「テレビを見る」「お風呂に入る」「給食を食べる」など、子どもたちに馴染みの深い、様々な生活のイラストが描かれています。普段の生活の中でも多くのエネルギーが使われていること、意外なところでエネルギーが使われていることを子どもたちは学んでいました。



地球温暖化問題は待ったなしの先送りできない問題です。気象キャスターネットワークでは今後も、IPCCレポートコミュニケーター事業の一員として、そして地球温暖化をはじめとした環境問題のメッセンジャーとして、様々な知識普及活動を行っていきたく思います。



「なるほど！お天気・環境実験教室 ～フロンを知って 地球を守ろう！～」

(ダイキン工業株式会社 協賛)

「なるほど！お天気・環境実験教室 ～フロンを知って 地球を守ろう！～」(ダイキン工業株式会社協賛)は、2011年度から始まり今年で5年目になります。毎年20校の小学校で授業を実施してきました。

フロンは地球温暖化係数が非常に高く、フロンの回収促進などの対策は地球温暖化の最重要課題の一つですが、一般にはあまり知られていません。子供達に正確な情報を知ってもらうとともに、家族ぐるみの行動に発展することで、家庭でのフロンの適切な管理、回収の促進につながる事が目的です。

今年度は、フロンの回収、破壊に関する法律の改正に合わせて、授業内容も修正して実施しました。



1時限目は、雲が発生し雨が降るまでの水循環のしくみ、水資源の大切さなど、実験を交えながらお話します。

2時限目は、オゾン層破壊や地球温暖化などフロンの環境問題を学びます。学校のエアコンの室外機を観察して、フロンの使用量を調べ、温暖化の影響(二酸化炭素換算量)を計算したり、エアコンを解

体してフロンが空気を暖めたり冷やしたりするしくみを学んだりします。

子ども達が地球の環境を守る大切さを感じ、また理科に興味を持ってもらえるとうれしいです。授業をきっかけに将来、気象や環境、または省エネ技術を研究する科学者が誕生すれば、この上ない喜びです。



防災出前授業「空の教室」

(河川整備基金 助成事業)

防災に関する出前授業「空の教室～空のメッセージをきいて、自然災害から身を守ろう～」(公益財団法人河川財団 河川基金 助成)を、2015年度は全国10校の小学校で授業を行いました。



1時限目は「天気と災害」についてで、この雲があるときはどんな現象が起こるのかな、大雨が降ったらどんな場所が危ないのかな、竜巻がきたらどこに避難すればいいのかな、など生徒の皆さんにも質問をして、一緒に考えて授業に参加してもらっています。竜巻を作る実験も、みんなに体験してもらいます。

2時限目は「防災ワークショップ」の時間です。数人の班ごとに家族になってもらって、「自分の家はどんな危険があるのかな?」「どこに避難すればよいのかな?」など話し合ってもらいました。



本活動は、河川財団から平成26年度優秀成果として表彰されました。この授業を通じて、天気や災害、地域の防災などについて少しでも関心を持ち、自分の身を守れるようにしていきたいですね。

台東区学びのキャンパスプランニング

台東区教育委員会が主催する「台東区学びのキャンパスプランニング」を通じて、台東区内の幼稚園、小学校、中学校で、気象・環境・防災教育を実施しました。



幼稚園では、身近な天気や防災の話題を、防災キャラクター「サイぼうくん」と一緒にクイズや体操、歌を交えながら遊んで学べる教室を行いました。今年度は新たに熱中症と紫外線をテーマに、紙芝居を活用した教室を実施しました。

小学校では「大雨が降ったらどんな所が危ないのか」「警報や注意報、台風情報について」など、より具体的、実践的に学べる授業を実施しました。またキャリア教育の一環として、気象予報士の仕事について実際の気象業務に従事する講師が仕事の舞台裏や、気象予報士を目指したきっかけなどを話し、生徒の皆さんの将来の進路に役立ててもらった授業を行いました。気象キャスター、気象予報士が集まる会場だからこそできる様々な授業を実施し、事務局所在地である台東区の地元根差した活動として今後も広がります。

イベントの開催

2015年も全国各地で子ども向けの天気や環境、防災に関するイベントを実施しました。

イベントでは、テレビやラジオの気象キャスターが実験やゲーム、クイズを取り入れながら、ステージを盛り上げます。雲や雨、竜巻など天気の実験のほか、気象キャスター体験など、子ども達が実際に体験して楽しめるしかけもたくさんあります。

2015年は宮城県岩沼市で被災地支援のイベントを実施しました。気象キャスターネットワークでは、今後も東日本大震災などの被災地での活動を続けていきたいと思っております。

2015年 イベント 実施例

IPCCレポートコミュニケーターによる親子向けイベント（大阪、名古屋）

東京ガス「食育&環境フェスティバル～みんなで育てよう食育&環境の樹～」

被災地支援イベント「お天気実験教室」（宮城県岩沼市）

ダイキンショールーム フーハ東京・フーハ大阪「お天気・環境実験教室」

国土交通省「お天気キャスターと楽しく学ぼう！わくわくお天気教室」（秋田県角館市、東成瀬村、宮城県石巻市、新潟県三条市）

なごや環境大学「お天気キャスターと学ぼう！『未来の天気はどうなる？』」

岐阜県環境イベント「お天気パワーで地球を救おう！」

「親子で学ぶお天気防災教室」（子どもゆめ基金助成事業）

「子ども環境ビデオレポート」（地球環境基金助成事業）

品川区環境情報活動センター 子ども環境学習講座

台東区環境ふれあい館ひまわり 環境学習入門講座

文京区 親子環境教室

■2015年イベント実施実績 61回

5月30日 秋田県東成瀬村 国土交通省「お天気キャスターと楽しく学ぼう！わくわくお天気教室」

5月30日（日）に秋田県東成瀬村で、国土交通省主催の親子向けお天気教室を行いました。講師は、NHKニュース7に出演中の寺川奈津美キャスターとNHK仙台放送局でおはよう宮城などに出演中の竹下愛実キャスターです。



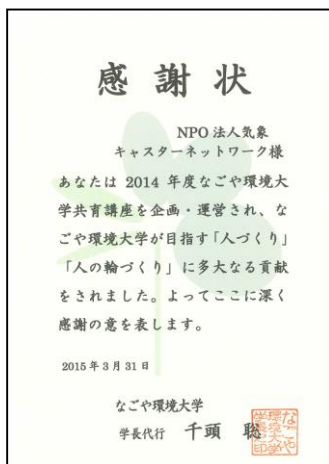
竜巻を作る実験をしたり、サーモグラフで汗をかいた時の体温の変化を測る実験をしたり、風鈴を作る工作をしました。みんな、風鈴に色鉛筆やクレヨンで夏にしたいことを思い思いに描いていました。

そして、講座のあとは特別に、現在建設中の成瀬ダムを見学に行きました。完成するのは、まだまだ先…何年か後に、完成したダムを見たとき、またこの日を思い出してくれるといいなと思います。



8月1日 なごや環境大学夏休み親子講座 お天気キャスターと学ぼう！「未来の天気はどうなる？」

なごや環境大学は、市民・NPO・企業などが協働で作る環境学習の場で、今年度開学10周年となりました。気象キャスターネットワークは2006年から毎年、親子向けの講座を開催しており、2015年3月に感謝状をいただきました。



今年度のテーマは「未来の天気はどうなる?」。身近な天気の話から始め、温暖化が進んだら天気はどうなるのか? 私達の暮らしへの影響は? など最新の報告書をもとに授業をしました。

「未来の天気予報」では、未来を想定したお天気お姉さんが登場、2050年の名古屋の天気予報をお伝えしました。異常気象や天気に関わるクイズを出題して、参加者の皆さんと楽しく勉強しました。

また、親子で雲の図鑑作りにチャレンジ、白やグレーの綿で10種雲形を表現した個性あふれる楽しい雲の図鑑ができました。参加した子どもからは「雲のことがよくわかり、雲の日記をつけたいと思った」、「自由研究にします!」、保護者の方からは「子どもが自分と同じ年になった時にこんなに環境が変わるんだと知る機会になってとてもよかった」、「気象予報士の皆さんの仲の良い、楽しい感じが伝わってきた」との感想をいただきました。



10月24日、25日 東京ガス ガスの科学館「がすてな〜に」
「食育&環境フェスティバル〜みんなで育てよう食育&環境の樹〜」

10月24日(土)、25日(日)に、東京ガスが運営する「がすてな〜に ガスの科学館」にて「食育&環境フェスティバル〜みんなで育てよう食育&環境の樹〜」が開催され、当会もステージイベントや講座を担当しました。

1日目は依田司キャスター(テレビ朝日)、藤森涼子キャスター(日本テレビ)、2日目は天達武史キャスター(フジテレビ)、今村涼子キャスター(テレビ朝日)など、各局で活躍する気象キャスターが講師を務めました。

講座の前半は地球温暖化について、後半は「エコクッキング」の話をしました。食材を買う時、地元の食材を買う「地産地消」や、旬な食材を選ぶことで、輸送や温



度調整などのエネルギーを節減できます。料理をする時も、鍋底から炎が出ないようにする、余熱を利用して調理をする、一つの鍋で段取り良く調理するなど、エネルギーを無駄なく使うことができます。さらに、鍋や食器を洗う時も、汚れをあらかじめ拭き取る、洗いおけを使い水を出した

ままにしないなど、少しの心掛けで環境に優しい生活ができます。

料理は私たちの生活に欠かせないものです。毎日行うものだからこそ、少しの工夫が大きな節約につながります。ガスを上手に使うことが地球環境に優しい生活へつながることを実感できるイベントや講座になったと思います。



11月7日 宮城県岩沼市
「空の教室 ~自然災害から身を守ろう~」

11月7日(土)に東日本大震災の被災地支援のイベントを実施しました。2011年から毎年行っているこのイベントは、今年も宮城県岩沼市で開催し、13名の会員の方々にご参加いただきました。



テーマは「空の教室~自然災害から身を守ろう~」。約50名の親子に参加いただき、雲や雨など天気の様子、雷や大雨など身近に起こる自然災害、災害から身を守る方法などを、実験をしたり、ゲームで体を動かしたりして学んでもらいました。講座後の体験の時間では、武田康男さんにご提供いただいた「南極の氷」に子

供たちは目を輝かせていたのがとても印象的でした。

参加者との距離も近く、子供だけでなく、親子で、そして私たちキャスターネットワークのメンバーも皆で楽しめる教室となったと思います。

また今回の被災地支援イベントでは、親子向けの教室の後に津波被害にあった沿岸部を視察し、被災された地元の方の生の声を聞くことができました。復興状況を知ることができ、大変貴重な機会となりました。

気象キャスターネットワークでは、今後も東日本大震災などの被災地での活動を続けていきたいと思っています。

11月14日 札幌市
「親子で学ぶお天気防災教室」

11月14日(土)に札幌市内で、親子で学ぶお天気防災教室「雨と雲のふしぎ」を開催、およそ100名の親子が参加してくれました。講師は廣瀬駿キャスター(北海道テレビ)、吉井庸二キャスター(北海道文化放送)、森和也キャスター(札幌テレビ)の3人が担当、北海道を代表するイケメン若



手お天気キャスターが、子供たちに楽しく分かりやすくお天気や防災の話をしました。

イベント冒頭には吉井キャスターの天気予報実演、当日の天気予報を本番さながらに披露して、会場から拍手が湧き起こっていました。今回の講座では、これから雪のシーズンを迎える北海道ということで、雪の話題を多く取り入れたのが大きな特徴です。雪の結晶を写真で見てもったり、屋根に積もった雪の重さをクイズで考えてもらうなど、身近な雪への新たな発見をしてもらえたのではと思います。また、暴風雪などの雪による災害から身を守る大切さを伝えることもできました。



気象キャスターの3名が直接、来場者のお子さんや保護者の方と会話をしながら実験や工作の説明を行い、アットホームな雰囲気イベントを進めることが出来ました。北海道でも引き続き、地元のお天気キャスターによるイベントや講演などを積極的に開いていけたらと思います。

講演・企業研修会

官公庁や自治体、企業、団体からの依頼をいただき、一般市民や企業社員向けなどの講演や研修会を全国各地で実施しました。気象キャスターや気象予報士が、気象災害から身を守るための様々な気象情報の活用方法や、天気予報の見方など最新の映像や事例を交え、わかりやすくお話しています。



気象健康セミナー(大塚製薬株式会社協賛)

2015年 講演・企業研修会 実施例

- 気象健康セミナー (大塚製薬株式会社協賛、2015年23回実施)
- エコプロダクツ2015 気象予報士が解説! 地球温暖化の現状と対策
- IPCCレポートコミュニケーター養成セミナー (2015年12回実施)
- 東京都家庭の省エネアドバイザー研修「地球温暖化の現状」
- 天気の達人がみた地球温暖化
- 世界の空はつながっている～異常気象と地球温暖化～
- 暮らしに役立つ天気予報 ～自然災害から身を守るには～
- 気象予報士から見た日常に潜む危険～備えあれば憂いなし～
- わたしたちの暮らしに役立つ天気予報活用術
- 気候変動と農業への影響
- お天気で元気になろう～気象と身体の深い関係～
- 目からうろこの天気予報

■2015年講演実施実績 154回

3月15

防災シンポジウム in 仙台

3月15日、宮城県仙台市で国連防災会議が開かれる中、「防災シンポジウムin仙台」(東北河川技術研修実行委員会主催)が行われ、気象キャスターネットワークも共催として参加しました。

第一部では、新潟県三条市長・国定勇人氏による「7・13新潟・福島豪雨災害からの10年」、東北大学助教・佐藤翔輔氏

による「災害対応における『災害情報』」の講演が行われました。

第二部のパネルディスカッション「防災情報をいかに伝えるか」に気象キャスターの井田寛子さん、寺川奈津美さん、奈良岡希実子さんが参加し、洪水や土砂災害などの防災情報をいかにわかりやすく伝えるかについて議論が行われました。

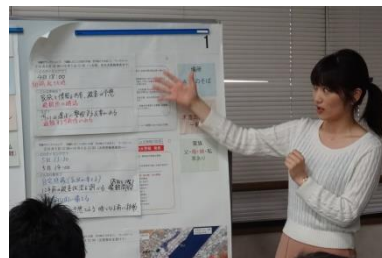


気象庁ワークショップ

「経験したことのない大雨 その時どうする？」

気象庁では、経験したことのない大雨に遭遇した際にどのように行動するかをグループで話し合っているワークショップ「経験したことのない大雨 その時どうする？」を、各気象台が主催して実施しています。気象キャスターネットワークでは、2015年は静岡、徳島など5ヶ所のワークショップでファシリテーターを担当しました。

ワークショップでは、台風が来たことを想定して、どのような情報入手して、どのように避難などの対処をするかをシミュレーションします。ファシリテーターは、ワークショップを進行させながら、参加者同士が話し合い考えながら学ぶ過程を見守り、参加者の主体的な学習をフォローする役割を果たしています。



気象キャスター育成

気象キャスターネットワークでは、気象キャスターを目指す人を応援した育成講座を実施しています。天気原稿の書き方、気象キャスターの基礎知識からカメラ前での実践まで、多様な講座を開催しています。

気象キャスター育成講座 「短期集中コース(大阪)」

11月28日～29日に大阪で気象キャスター育成講座「短期集中コース」を開催、関西地方で活躍中の気象キャスターの西口香織さん、堀奈津子さん、久保智子さんに講師をご担当いただきました。

クロマキー(合成技術)を使っの天気予報カメラ実習では、受講生の皆さんは

何度も練習を繰り返し、最後にはカメラの前で解説ができるようになりました。

短期集中コースは気象キャスターに必要なスキルを凝縮して学べるため、地方在住の方に好評を頂いています。今後も全国各地で講座を開き、多くの気象キャスターが誕生してもらえたらと思います。



内容

時期・回数など

気象キャスター育成講座	ピギナーコース	1回 (4～5月)
	マスターコース	2回 (12月～1月、6月～7月)
	短期集中コース	大阪(11月)
気象キャスター原稿講座		5回

講座・研修会・見学会

気象キャスターネットワークでは、会員の方が気象・防災・環境に関する最新の情報・知識を学ぶことができる講座・研修会・見学会を実施しています。気象講座の様子は、全国の会員の方にご覧いただけるように、ユーストリームを使ってライブ配信を行っています。また、今年度は広島土砂災害、関東・東北豪雨の被災地の現地視察も実施しました。

2015年実施 講座・研修会・見学会

1月17日	日本の豪雪と地球温暖化 日本に寒さをもたらす要因	気象庁気象研究所 海洋研究開発機構	川瀬宏明氏 堀正岳氏
4月18日	広島土砂災害 現地視察		
7月 4日	最新の地球温暖化に関する知見～異常気象レポート・IPCCより～	気象庁 地球環境・海洋部	石原幸司氏
8月29日	異常天候早期警戒情報とその利活用	元水戸気象台長	渡辺典昭氏
10月 4日	気象キャスター座談会	天達武史さん、蓬萊大介さん、池田未来さん	
11月29日	平成27年9月関東・東北豪雨 現場視察 (常総市)		
12月 5日	東京の気象観測所や大雪について	気象庁気象防災部	丹下昭彦氏、久野勇二氏、上口弘晃氏
12月25日	施設見学会 国土技術総合政策研究所 (茨城県つくば市)		

4月18日 広島土砂災害 現地視察

2014年8月20日に発生した広島土砂災害の現地視察に参加しました。広島で活躍されている会員の波田健一さんが企画、中国地方整備局のみなさんにご協力いただいたの実現でした。

まず向かったのは、安佐南区の緑井地区。実際に歩いて現場を見ながら、事務所のみなさんが、くわしく説明してくださいました。



建物が残った県営住宅も、2階の屋根

の瓦が落ちています。この高さまでの土砂が来たんだ…茫然と見上げました。階段の手すりも崩れています。



全3kmほどの行程を途中途中で沢沿いの被害の痕を確認しながら歩いていき、最後に特別に斜面を上がらせて頂いて目にしたのが八木地区の治山堰堤が堰きとめた、大量の土砂と木。これだけ堰きとめても、もっともったくさんの土石流が住宅を襲ったのです。



百聞は一見にしかず。大雨の被害のあった現場を訪れたのは初めてでしたが、自分の目で見たことによって、被害の実態をリアルに理解し、被害を防ぐために、身を守るために、何が必要なのかを「我がこと」として考えることができました。そして、改めて、どこでも起きる可能性はある、ということに肝に命じるべきだと強く感じました。

(石垣真帆さん・東海地区)

11月29日 関東・東北豪雨 現場視察 (常総市)

2015年9月の豪雨で甚大な被害が発生した鬼怒川の被災現場の視察に参加しました。国土交通省河川局のご協力を実現したものです。

一見なんでもないように見える堤防の川と反対側のふもとを見ると、半円状に土嚢が積んであります。堤防内の弱い部分が浸食されて、川と反対側に砂がはみ出してきた部分を応急処置している状態だそうです。



堤防が決壊した部分には、まだ応急処置だそうです。新たな堤防が作られています。テトラポットなどが埋められているのと、両脇を鋼板で固められているものと2段構えになっていました。



もうすぐ3カ月、もと通りにはまだまだ時間がかかる様子です。埼玉の実家周辺とほとんど変わらない郊外の平地…川が溢れたことで、こんなにも変わってしまう。このエリアだけでなく、どの川沿いでも起こりうると、当たり前にも要注意点が潜んでいることを痛感しました。早い復旧を願いつつ、忘れてはいけない光景と思いました。

(伊藤みゆきさん・関東地区)

気象・生活情報の提供

熱中症情報や乾燥情報など生活に役立つ情報を発信しています。

熱中症予防情報(大塚製薬株式会社協働)では、暑さ指数(WBGT)を使い、気温だけでなく湿度などを加味した熱中症の危険度を予測しています。スマートフォン向けページではGPS機能で所在地の暑さ指数を手軽に表示できる形となっています。

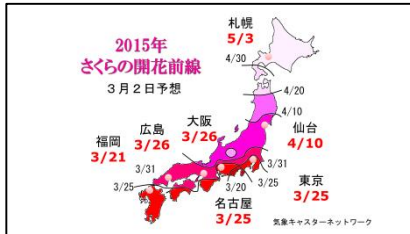
生活乾燥情報(大塚製薬株式会社協働)では、暖房した室内の乾燥度合が分かる室内乾燥指数(IDI)を予測しています。

春には独自の「さくら開花予想」を発表しています。また会員の皆様にお役立ていただける気象情報閲覧ページも開設しています。



熱中症予防情報(大塚製薬株式会社協働)

生活乾燥情報(大塚製薬株式会社協働)



さくら開花予想

アメダスランキング-全国 (2015年2月13日)
データ期間:2015/02/13 (00:00)~2015/02/13 (18:10)

順位	地名	最高気温(℃)	観測時刻
1位	南鳥島	23.9	2015/02/13 (12:18)
2位	厚狭町	21.1	2015/02/13 (12:20)
3位	石垣島	20.8	2015/02/13 (14:20)
4位	佐野	20.8	2015/02/13 (15:31)
5位	庄内町	20.8	2015/02/13 (12:57)
6位	仲野	20.8	2015/02/13 (12:39)
7位	家山	20.5	2015/02/13 (14:20)

会員専用ページ アメダスランキング

会員数

この1年の間にも多くの方に新規に会員になっていただき、2015年12月末で会員数は計283人となりました。全国の多くの会員の皆様にご参加いただいているパワーとネットワークを生かせるように、2016年も一層活動の幅を広げていきたいと考えております。

正会員	137名
一般会員	133名
賛助会員	2社
学生会員	13名
計	285名

2015年12月末現在

「Twitter」「Facebook」のご案内

ソーシャルメディア公式アカウントを作成し、随時当会の活動紹介や、出前授業・イベント募集などをご案内しています。

ぜひ、Facebookの「いいね！」ボタンを押して、Twitterのフォローをして頂き、当会からのご案内をご利用下さい。

「いいね！」してね☆

NPO法人 気象キャスターネットワーク

〒110-0002
東京都台東区上野桜木1-14-21
高遠レジデンス上野桜木202号
TEL 03-5832-9401
FAX 03-5832-9402
MAIL info@weathercaster.jp

ホームページもご覧ください

<http://www.weathercaster.jp/>
気象キャスター 検索

